

市民との意見交換会取りまとめシート

| | |
|------------------------------------|--------------------|
| 開催地区： 本山 中学校区 | 開催場所： 道泉地域交流センター |
| 開催日： 平成30年 7月 20日(金) | 開催時間： 午後7時～午後8時30分 |
| 出席議長 長江秀幸 中川昌也 柴田恵子 西本 潤 高島 淳 朝井賢次 | 参加人数： 24 人 |

広報広聴協議会 広聴部会長 宛

市民との意見交換会を実施した結果を報告します。

報告者

長江秀幸

| 項番 | 中分類 | 小分類 | 発言の背景・意図 | 優先項目 |
|----|-----------------|----------------------|--|------|
| 1 | 小中一貫校について（跡地利用） | モアスクールを道泉小学校に残してほしい。 | 親のお迎えの距離が遠くなるため、徒歩でのお迎えができない。車の乗れないお年寄りがお迎えにいけないので、従来どおりの場所に設置して欲しい。 | ○ |
| 2 | | 避難所などの防災利用 | 災害時に徒歩で避難できる場所として残して欲しい。 | ○ |
| 3 | 小中一貫校について（通学） | 通学手段を明確に | 通学所要時間、通学距離、小さく歩けない子どもの対応、暑い時期に歩くの大変、熱中症対策等。 | ○ |
| 4 | | 通学路の説明 | 学校名の事より、通学路の事の方が重要である。通学路について詳しく話して欲しい。 | ○ |
| 5 | | スクールバスを出して欲しい | 今までより長い距離を歩かせるのは大変。子どもの安全な通学を担保するためにもスクールバスでの送り迎えが必要。 | ○ |
| 6 | 小中一貫校について（通学） | お迎えできる駐車場の整備 | スクールバスの降車場は少し離れたところと聞く。お迎えの駐車場は近くにしたい。 | ○ |
| 7 | | 通学路が狭く危険である | 無料でバス通学ができるようにしたい。 | ○ |
| 8 | | 徒歩通学は大変 | 徒歩で通学するには遠すぎるので、無料でスクールバスを運行してほしい。 | ○ |
| 9 | | バス通学 | コミュニティバスとスクールバスの両方でバス通学の保障をして欲しい。 | ○ |
| 10 | 小中一貫校について（全体） | 市の対応が不十分 | 小中一貫校に対して様々な問題が出てくるのは、準備不足のまま進めているから。 | ○ |
| 11 | 小中一貫校について（全体） | 反対（必要性） | 小中一貫校がなぜ必要なのか？ | ○ |
| 12 | | 反対（意義） | 小規模校がなぜいけないのか？ | ○ |
| 13 | | 反対（民意の反映） | 地域の当事者の意見がちゃんと届いているのか？ | ○ |
| 14 | | 反対（不登校） | 学校が遠くなることで行きたくなくなり不登校が出るのでは？ | ○ |
| 15 | | 反対（いじめ） | 小中一貫校となることでいじめが起こるのでは？ | ○ |

市民との意見交換会取りまとめシート

| | |
|------------------------------------|--------------------|
| 開催地区： 本山 中学校区 | 開催場所： 道泉地域交流センター |
| 開催日： 平成30年 7月 20日(金) | 開催時間： 午後7時～午後8時30分 |
| 出席議長 長江秀幸 中川昌也 柴田恵子 西本 潤 高島 淳 朝井賢次 | 参加人数： 24 人 |

広報広聴協議会 広聴部会長 宛

市民との意見交換会を実施した結果を報告します。

報告者

長江秀幸

| 項番 | 中分類 | 小分類 | 発言の背景・意図 | 優先項目 |
|----|-------------------|---------------------------------|--|------|
| 16 | 小中一貫校について | 反対(転居) | 小中一貫校に入学したくないので、転居や私立を受験している現実を市は把握しているのか？ | ○ |
| 17 | 小中一貫校について(地域のあり方) | どうせ造るなら良い学校を。絵に描いたもちではだめ | | ○ |
| 18 | | 中心市街地の衰退、減退が懸念。学校がなくなりますます人口減少に | | ○ |
| 19 | | | まずは日常生活が足るまちづくり | ○ |
| 20 | | 自治会との整合性は | | ○ |
| 21 | 小中一貫校について(跡地利用) | 説明 | 道泉小、深川小、本山中の跡地利用についての説明を詳しくして欲しい。 | ○ |
| 22 | 小中一貫校について(地域) | 地域の声を早く聞く | 地域の声をもっと早く聞いて欲しかった。すべて事後承諾のような気がする。 | ○ |
| 23 | | 地域力 | 市は地域力を推進しているのに地域の思いを無視している。 | ○ |
| 24 | 小中学校施設整備(環境) | 小中学校へのエアコン設置 | 命に関わる気象状況である。すべての小中学校にエアコンを設置すべきである。 | ○ |
| 25 | | | エアコン設置が完了するまでの対応を早急に検討すべきである。 | ○ |
| 26 | | | エアコン設置の際は、各教室で調節可能にすることで、電気代のムダがなくせる。 | ○ |
| 27 | 小中学校の学校選択制 | 制度の存続 | 学校選択制度を残してほしい。 | ○ |
| 28 | | 選択時期 | 平成31年度入学生の選択期限を延長して欲しい。 | ○ |

市民との意見交換会取りまとめシート

| | |
|------------------------------------|--------------------|
| 開催地区： 本山 中学校区 | 開催場所： 道泉地域交流センター |
| 開催日： 平成30年 7月 20日(金) | 開催時間： 午後7時～午後8時30分 |
| 出席議長 長江秀幸 中川昌也 柴田恵子 西本 潤 高島 淳 朝井賢次 | 参加人数： 24 人 |

広報広聴協議会 広聴部会長 宛

市民との意見交換会を実施した結果を報告します。

報告者

長江秀幸

| 項番 | 中分類 | 小分類 | 発言の背景・意図 | 優先項目 |
|----|----------------|------------------------------|--|------|
| 29 | 公共交通（コミュニティバス） | 充実 | コミュニティバスなどの地域公共交通を更に充実させて欲しい。 | ○ |
| 30 | | デマンド型タクシーの導入検討。菱野団地の住民バスに注目。 | | |
| 31 | | 坂、距離を考えて欲しい | | |
| 32 | | 免許返納に対するメリットなし。無料バスの導入。 | | |
| 33 | | 高齢者のバス利用に関する規制が多い | | |
| 34 | 災害対策 | 災害時に係る諸対応の見直し | 瀬戸市防災計画は現実に即しているか。 | |
| 35 | | 災害時の伝達方法・手段を明確に地域単位で確立し周知する | | |
| 36 | | 旧中心市街地の防犯対策は | | |
| 37 | 敬老会について | 名簿について | 地域のお年寄りの名簿が作れない。亡くなった方など正確な情報がない。 | ○ |
| 38 | 老人クラブについて | 市老連加入者が激減 | 老人クラブの補助金支給対象人数（30人）は無理が多い。不公平感も感じる。 | ○ |
| 39 | 地域について | 空き家について | 空き家を市が買う→何軒か空き家があればまとまった土地になる→中心市街地の再生計画 | |
| 40 | | 本山中学校の跡地について | 本山中学校の跡地の借地料はどうなるのか？ | |
| 41 | | 空き家について | 連区の空き家はどのように対応していくのか。 | |
| 42 | | 高齢者の外出 | 深川連区は老人が多いが最近はあまり見ない。もっと顔を見せてほしい。 | |
| 43 | 公園の維持管理 | 美観 | 公園が近くにあるが雑草だらけである。 | |

市民との意見交換会取りまとめシート

| | |
|------------------------------------|--------------------|
| 開催地区： 本山 中学校区 | 開催場所： 道泉地域交流センター |
| 開催日： 平成30年 7月 20日(金) | 開催時間： 午後7時～午後8時30分 |
| 出席議長 長江秀幸 中川昌也 柴田恵子 西本 潤 高島 淳 朝井賢次 | 参加人数： 24 人 |

広報広聴協議会 広聴部会長 宛

市民との意見交換会を実施した結果を報告します。

報告者

長江秀幸

| 項番 | 中分類 | 小分類 | 発言の背景・意図 | 優先項目 |
|----|-----------------|----------------------------|---|------|
| 44 | 道路等整備 | 瀬戸川環境整備 | ランニングロードとして整備して欲しい。 | |
| 45 | | 側溝の掃除の際厚い蓋がかえって邪魔 | | |
| 46 | | 陶生病院北側の道路の開通は？地元周知も甘い。 | | |
| 47 | | 通学路の安全確保 | 狭く曲がりくねった道が多いが、面的整備が財務的に困難なら別の検討をすべき。 | |
| 48 | | 年一回は地域ごとでの面的整備の御用聞きをすべき | | |
| 49 | 観光施策 | PR不足 | | |
| 50 | | 通りに名前をつけて親しみやすくしてはどうか | | |
| 51 | | まちなかミュージアムの飲食店の誘致 | | |
| 52 | | 陣屋、窯神の掘り出し跡地活用の整備 | 安全性の問題で入れないのは理解するが、行けないのにカタログに載せるのはどうか。 | |
| 53 | | 点ではなく誰でもわかる線で観光スポットをつなげるべき | | |
| 54 | 公立陶生病院について | 赤字問題について | 今後どうなるのか。 | |
| 55 | | 玄関について | 玄関らしくみえない。 | |
| 56 | リニアの残土搬入に伴う環境汚染 | 通学路 | リニア残土を搬入してくる車により通学路が危険 | |
| 57 | | 環境汚染 | リニア残土の埋め戻しにより、ほこりが発生し環境 | |
| 58 | 瀬戸さくらんぼ学園 | 施設 | 特別支援学校にて小中学校との施設・設備の共用について | |

市民との意見交換会取りまとめシート

| | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 開催地区： 本山 中学校区 | 開催場所： 道泉地域交流センター |
| 開催日： 平成30年 7月 20日(金) | 開催時間： 午後7時～午後8時30分 |
| 出席議長 江秀幸 中川昌也 柴田恵子 西本 潤 高島 淳 朝井賢次 | 参加人数： 24 人 |

広報広聴協議会 広聴部会長 宛

市民との意見交換会を実施した結果を報告します。

報告者

長江秀幸

| 項番 | 中分類 | 小分類 | 発言の背景・意図 | 優先項目 |
|----|------------|-----------------------------|--|------|
| 59 | 議会に対する意見 | 姿勢 | 議会・議員に対する敷居を低くし話しやすくして欲しい。 | |
| 60 | | 議会改革 | 議会改革の制度設計は整ったので機能させて欲しい。 | |
| 61 | | 審査 | 予算・決算審査において税について質疑が必要である。 | |
| 62 | | 賛成した議会の立場 | 小中一貫校について議会は賛成の立場だが、どのように受け止めているのか。 | |
| 63 | | 連区をどう考える | 議会は連区をどのように考えているのか。 | |
| 64 | その他(瀬戸市全体) | 人口増 | 瀬戸市民が増えるような政策をして欲しい。 | |
| 65 | | 意見 | 市民意見はどこまで届く?無理なことはなぜ無理かという返事が欲しい。 | |
| 66 | | 名古屋学院大学 | なぜ名古屋へ大半が移転したのか。 | |
| 67 | | 第6次総合計画とは? | 第6次総合計画があるが、それ以前の計画と何が違うのか?市民にしっかり伝わっていないのではないか。 | |
| 68 | | 瀬戸橋について | 瀬戸橋はいつまで工事をしているのか?通行が現在複雑。 | |
| 69 | その他(瀬戸市全体) | 健康高齢者が増えるような施策展開をしなければならない。 | | |
| 70 | | 高齢者の巡回訪問をするべき。 | | |